

平成 29 年度	健康部 保健所の取り組み実績
	<健康部 保健所の構成> 保健企画課、保健衛生課、保健予防課、保健センター

1. 重点施策・事業

(1) 保健医療・公衆衛生分野における災害対策	
目標	<p>近年の災害においては、保健医療・公衆衛生分野での対策の重要性が言われ、DMAT（災害派遣医療チーム）や DHEAT（災害時健康危機管理支援チーム）等、被災地支援・受援体制の構築が進められています。被災自治体においては、医療の提供に係るコーディネートをはじめ、被災者の健康面のフォローや衛生面の管理・監視等、保健所が担う役割は大きく、本市地域防災計画では、地域災害医療本部を保健所に設置しています。そこで、災害時において、保健所が中核となって、市域の保健医療・公衆衛生に関する活動に適切かつ円滑に取り組めるよう、体制の整備を図ります。</p>
取り組み	<p>関係機関等と連携し、災害対策に係る訓練を実施するとともに、マニュアルの検証・見直しに取り組めます。</p> <p>平成 29 年度当初予算：400 千円</p>
実績	<p>政府における大規模地震時医療活動訓練にあわせ、地域災害医療本部訓練を実施し、マニュアルの検証を行ったほか、災害拠点病院等の関係機関との通信訓練や、市内病院と連携した EMIS（広域災害救急医療情報システム）入力訓練等を行いました。</p> <p>平成 29 年度決算：200 千円</p>
取り組みに対する達成状況 【 ◎ 】	

(2) 薬物乱用防止啓発の推進	
目標	<p>平成 27 年 11 月に小学生が大麻を吸引するという事件が発生する等、若年層への薬物汚染が急速に広がり大きな社会問題となっており、青少年による薬物乱用の根絶及び規範意識の向上は重点課題となっています。</p> <p>そこで、青少年・若年層に対して違法な薬物の危険性について正しい知識の普及をめざして啓発活動を行います。</p>
取り組み	<p>小学生・中学生を対象に薬物乱用防止教室に取り組む各団体と情報交換・情報共有を行うとともに、連携・協力体制の強化を図り、薬物乱用防止啓発活動を行います。</p> <p>平成 29 年度当初予算：573 千円</p>

実績	枚方市薬物乱用防止連絡会を開催したほか、薬物乱用防止教室講師紹介の要望があった市内小学校 2 件、中学校 1 件に対し、連絡会構成団体に所属する講師を紹介しました。
	平成 29 年度決算：993 千円（※補正予算等の対応あり）
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(3) ヘルシーメニューの開発支援	
目標	日々の生活の中で、栄養・食生活分野は、がん、心疾患、脳卒中、糖尿病等多くの生活習慣病との関連が深くなっています。一方、本市が実施したアンケート調査によると、外食への依存傾向がみられました。そこで、食を取り巻く環境の改善が食生活面からの個人の健康づくりにつながることから、飲食店に対して啓発を行い、ヘルシーメニューの提供を通じて健康づくりの推進を図ります。
取り組み	枚方市独自で設定する「ヘルシーメニュー基準」に基づき、ヘルシーメニューの開発及び提供を行います。市民が利用しやすいよう、冊子やリーフレットを作成し、広く周知を行います。
	平成 29 年度当初予算：1,789 千円
実績	市内飲食店 26 店舗と、市独自の基準に基づき共同作成したヘルシーメニューを 8 月から提供し延べ約 4,000 食の利用がありました。冊子・リーフレットを作成し、店舗を含む約 60 ヶ所に設置・配布を行うとともに、広報や地方紙などを通じて周知を行いました。
	平成 29 年度決算：1,421 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(4) 食中毒など健康危機事象発生の未然防止	
目標	安全で快適に生活できるよう、食品関係施設や理美容所などの生活衛生施設における衛生水準の向上を図り、健康危機事象発生の未然防止をめざします。
取り組み	食の安全・安心への関心が一層高まる中、食品等事業者には HACCP（ハサップ）による衛生管理の手法を普及・啓発し、食中毒などの健康危機事象発生の未然防止に努めます。
	平成 29 年度当初予算：15,159 千円
実績	食品等事業者に対して講習会、窓口にて HACCP に基づく衛生管理の手法について普及・啓発し、導入を推奨するとともに、市民に対して健康関連イベント等で HACCP による衛生管理を広く周知しました。
	平成 29 年度決算：9,583 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

(5) こころの健康づくりの推進	
目標	身近に個々の相談ができる体制づくりや、疾患の初期段階から適切な相談や支援につなげるためのネットワークづくりを行うことでこころの健康づくりの推進を図ります。
取り組み	専用電話による「こころの健康相談」及び、モバイル機器を活用したメンタルチェックシステム「こころの体温計」、精神保健講演会等を通して、こころの健康づくりの啓発に努めます。また、関係機関との連携や精神科医師による相談等を通じ、相談や支援を行うとともに、疾患の初期段階から適切な相談や支援につなげるためのネットワークづくりを行います。
	平成 29 年度当初予算：3,788 千円
実績	専用電話による「こころの健康相談」、メンタルチェックシステム「こころの体温計」、精神保健講演会を通じてこころの健康づくりの啓発を行いました。「こころの健康相談」の相談件数は延べ 742 件、「こころの体温計」については総アクセス数が 31,714 件でした。精神保健講演会は、3 回開催。市民や関係機関職員 82 人が参加しました。
	平成 29 年度決算：3,197 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

(6) 難病対策の推進	
目標	難病患者やその家族が地域で安心して過ごせる在宅療養環境を整備します。
取り組み	健康医療都市ひらかたコンソーシアム参画団体で構成する枚方市難病対策分野神経難病対策医療ネットワーク部会を通して、関係団体と情報を共有し、在宅難病患者が抱える地域医療の課題に取り組みます。
	平成 29 年度当初予算：6,567 千円
実績	難病患者の療養環境整備と在宅医療推進を目的として、「終末期に関する意識調査」及び「かかりつけ医に関する実態調査」の他、難病患者を含む在宅医療の推進を図るため、市内病院を対象に平成 28 年度部会発行の「在宅医療資源集」「訪問看護資源集」活用状況に関する調査を実施しました。また、枚方市訪問看護ステーション連絡会と連携して災害時対応について情報交換会を開催しました。
	平成 29 年度決算：5,392 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

(7) 妊産婦への支援の拡充について	
目標	安心して楽しく子育てできるまちの実現に向け、妊娠・出産から子育て期にわたる切れ目のない支援策を充実させます。
取り組み	産後うつの予防や新生児への虐待予防等を図る観点から産婦健康診査にかかる費用を助成し、健診の結果、支援が必要な母子への心身のケアや育児サポート等を行います。また、妊娠届出時に交付する母子健康手帳のデザインを4種類準備し、妊婦やその家族が好きなデザインから選べるようにします。 平成29年度当初予算：19,585千円
実績	選べる母子健康手帳の交付は、4月より開始し好評を得ています。交付数は2,878件でした。産婦健康診査にかかる費用助成を、10月1日以降出産の産婦から開始し、受診延べ件数は1,836件となっています。 平成29年度決算：10,336千円
取り組みに対する達成状況 【 ◎ 】	

(8) 市民の健康を支える地域拠点の整備	
目標	赤ちゃんから高齢者までが健康で生き生きと暮らすことができるまち、安心して子育てできるまちづくりをめざします。
取り組み	より身近な地域で市民が気軽に相談でき、妊娠・出産から子育て期、さらには成人・高齢期までの切れ目のない支援を行うことができる地域拠点を、北部支所内に整備します。 平成29年度当初予算：12,658千円
実績	平成29年12月北部支所内に「すこやか健康相談室 北部リーフ」を開設しました。保健師が常駐し、妊娠届出時の面接や来所による健康相談等を行い、家庭訪問や地域に出向いての出前健康講座、出前健康相談を実施しています。 なお、「すこやか健康相談室」は国が法定化した「子育て世代包括支援センター」としても位置づけています。 市民からの相談件数は755件、出前健康教育10件（受講者220人）関係機関の来所件数は18件でした。 平成29年度決算：11,413千円
取り組みに対する達成状況 【 ◎ 】	

(9) 各種がん検診の推進	
目標	がんを早期発見し、適切な治療に結びつけられるよう、引き続き、各種がん検診について受診率向上や精度管理の取り組みを進めます。

取 組 み	無料クーポン券の送付や、がん検診受診率アップキャンペーンの取り組みを継続するとともに、若年層での発症リスクが高い子宮頸がん検診については、国立がん研究センターが受診を促すためにマーケティングの考え方に基づいて作成された受診勧奨圧着はがきを送付します。また、平成 29 年 4 月から 50 歳以上の市民を対象に胃がん検診内視鏡検査を開始します。
	平成 29 年度当初予算：444,787 千円
実 績	4 月から胃がん検診内視鏡検査を開始し、23 医療機関で実施。受診者数 1,404 人でした。6 月末に、子宮頸がん・乳がん・大腸がん検診の無料クーポン券を送付、9 月上旬に、国立がん研究センターが受診を促すためにマーケティングの考え方に基づいて作成された子宮頸がん検診受診勧奨圧着はがきを送付しました。受診勧奨はがきの送付対象年齢においては、前年度より 8%の受診率の増加がみられました。 がん検診受診率アップキャンペーンの取り組みを引き続き実施し、がん検診受診率 50%達成に向けた集中キャンペーン月間である 10 月には乳幼児健康診査などでがん検診の周知を行いました。
	平成 29 年度決算：406,272 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

2. 行政改革・業務改善

◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
相談業務の検証	「ひらかた健康ほっとライン 24」の設置に伴い、所内で実施している既存の各種相談業務について、相談件数の推移などを踏まえ、運営方法等の検証を行います。
実 績	同種の相談業務を所管する部署を対象に、相談件数の推移や運営状況等について聞き取りを行いました。さらに、将来的な相談窓口の統合の可能性や手法について協議を行うとともに、より効果的な相談業務の実施に向け、引き続き検討を進めていくことを確認しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
犬猫の保管等の業務の見直し	犬猫の殺処分ゼロをめざし、無償譲渡の取り組みを促進するとともに、犬猫の保管等の業務のあり方を見直します。
実 績	譲渡促進のためにホームページ、動物愛護パネル展、ポスター等での情報発信を行いました。また、平成 29 年 8 月より犬猫の保管、飼養管理の委託先を殺処分を行わない「大阪府森林組合」に変更し、あわせて委託料を削減しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

3. 予算編成・執行

- ◆妊産婦への支援の拡充のうち、産婦健康診査については、母子保健衛生費国庫補助金を、市民の健康を支える地域拠点整備事業については、子ども・子育て支援交付金（国・府）を活用し、効果的な事業の運営を図ります。

実績	産婦健康診査事業に母子保健衛生費国庫補助金として 442 万 3,000 円、市民の健康を支える地域拠点整備事業に子ども・子育て支援交付金（国・府）として 540 万円をそれぞれ活用し、効果的に事業を推進しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆感染症予防対策、難病患者の在宅療養支援、がん検診の推進などの取り組みについて、感染症予防事業等国庫負担（補助）金を活用し、効果的な事業の運営を図ります。

実績	感染症予防事業等国庫負担（補助）金として、生まれてくる新生児を先天性風しん症候群から守るための風しん予防対策事業に風しん抗体検査事業費補助金 114 万 5,000 円、がん検診推進事業にがん検診推進事業補助金 313 万 3,000 円、退職保健師が育成トレーナーとなる、新人保健師の指導育成事業に地域保健従事者現任教育推進事業補助金 80 万 3,000 円をそれぞれ活用し、効果的に事業を推進しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

4. 組織運営・人材育成

- ◆より質の高い地域保健サービスが求められる中、保健師の専門能力の向上を目的に、保健師人材育成ガイドラインに基づき、保健師の組織的・計画的な人材育成の体制を構築します。

実績	人材育成体制のあり方について、庁内保健師全体で階層別グループワークを行い、意見聴取と課題の洗い出しを行うとともに、29 年度、新たに作成した「保健師研修体系・研修計画」に基づき、組織的・計画的な人材育成体制の構築に取り組みました。とりわけ、29 年度からスタートした中堅期対象の PDCA の実践研修は、業務改善につながっています。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

5. 広報・情報発信

- ◆FM ひらかたを通して市民の暮らしや健康に役立つさまざまな情報を発信するとともに、放送内容をホームページに掲載することで市民に広く周知を行います。

実績	毎週木曜日午後 2 時に FM ひらかたを通して情報発信を行うとともに、放送内容を「ほけんしょ通信」と題してホームページに掲載しました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】